

スポーツ基本計画・・・スポーツ基本法(2011(平成23)年公布・施行)に基づき、文部科学大臣が定める計画。第2期は2017(平成29)年度～2021(平成33)年度。

## 第1期基本計画

## 第2期基本計画

2020年  
東京大会の  
開催決定

障害者スポーツが  
厚労省から  
文科省へ移管

スポーツ庁の  
創設

第2期  
基本計画  
策定

ラグビー  
ワールドカップ等

東京オリンピック・  
パラリンピック  
競技大会

ワールド  
マスターズ  
ゲームズ関西

2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022

### ポイント1

スポーツの価値を具現化し発信。  
スポーツの枠を超えて異分野と積極的に連携・協働。

## ～スポーツが変わる。未来を創る。 Enjoy Sports, Enjoy Life ～

### 1 「する」「みる」「ささえる」 スポーツ参画人口 の拡大

スポーツ実施率(週1)  
42% ⇒ **65%**

スポーツをする時間を  
持ちたいと思う中学生  
58% ⇒ **80%**

スポーツに関わる人材の確保・育成

総合型地域スポーツクラブの  
中間支援組織を整備 **47都道府県**

学校施設やオープンスペースの有効活用

大学スポーツアドミニストレーター  
を配置 **100大学**

など

### ポイント2

数値を含む成果指標を第1期計画に  
比べ大幅に増加(8⇒20)。

### 「人生」が変わる！

スポーツで  
人生を**健康で生き生き**と  
したものにする。

### 「社会」を変える！

共生社会、健康長寿社会の  
実現、**経済・地域の活性化**  
に貢献できる。

### 「世界」とつながる！

**多様性を尊重**する世界  
**持続可能で逆境に強い**世界  
**クリーンでフェア**な世界  
に貢献できる。

### 「未来」を創る！

**2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等**を好機として、  
スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、  
レガシーとして「**一億総スポーツ社会**」を実現する。

### 3 国際競技力の向上

オリンピック・パラリンピックにおいて  
**過去最高の金メダル数**を獲得する等  
優秀な成績を収められるよう支援

中長期の強化戦略に基づく支援  
次世代アスリートの発掘・育成  
スポーツ医・科学等による支援  
ハイパフォーマンスセンター等の充実

### 4 クリーンでフェアな スポーツの推進

インテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)を高める

コンプライアンスの徹底  
スポーツ団体のガバナンス強化  
ドーピング防止

### 2

### スポーツを通じた 活力があり絆の 強い社会の実現

障害者のスポーツ実施率(週1)  
19% ⇒ **40%**

スポーツを通じた健康増進

女性の活躍促進

### スポーツ市場規模の拡大

5.5兆円 ⇒ **15兆円** (2025年)

スポーツツーリズムの関連消費額  
2,204億円 ⇒ **3,800億円**

戦略的な国際展開

**100か国以上1,000万人以上**にスポーツで貢献  
2020年東京大会等の円滑な開催

など

### ポイント3

障害者スポーツの振興やスポーツの  
**成長産業化**など、**スポーツ庁創設後**  
の**重点施策**を盛り込む。